



平成29年度 桶川市立加納小学校グランドデザイン

○第2期埼玉県教育振興基本計画「生きる力を育て絆を深める埼玉教育」

埼玉の子供たちの将来：夢や志をもち、学びを通して人生を切り拓き、幸福な生涯を実現するとともに、社会の中で役割を果たすことのできる人間

○桶川市教育プラン
生きる力を育み、未来へはばたく桶川の教育

学校教育目標 「自分をみがき とともに生きる かのうっ子」



目指す学校像 地域に誇れる加納小学校
目指す児童像 進んで学ぶ子 やさしい子 たくましい子
目指す教師像 学び続ける教師 子供を愛する教師 使命感のある教師



本校の課題
○学力向上
○小・中一貫教育
○学校課題研究の充実
「確かな学力を育む授業の創造」—国語科「読むこと」の指導を通して—

チーム 加納小
学校経営の3つのキーワード「笑顔」「個性」「誇り」

笑顔

個性

誇り

- 今年度の重点
- ・学校課題研究の推進
 - ・読書活動の推進
 - ・健康増進と体力向上
 - ・多様な学習体験
 - ・縦割り活動の充実
 - ・道徳教育の充実

- 今年度の重点
- ・組織的な生徒指導
 - ・教育相談日の活用
 - ・自己有用感の育成
 - ・ケース会議の開催

- 今年度の重点
- ・特色ある幼保・小・中・高連携教育の推進
 - ・もくもく清掃
 - ・校内研修の充実

- （1） させて・見届け・ほめる教育
 - ・成功体験の積み重ねを大切にする。
 - ・児童の自主的な活動を支援し、見届け、評価する。
- （2） 「わかった」、「できた」の充実感が得られる授業
 - ・全員参加の主体的、対話的な深い学びのある授業を実現する。
 - ・教職員の協働により少人数指導やTT、教科担任制に取り組む。
 - ・家庭との連携を深め、家庭学習の充実を図る。
- （3） 多様な学習体験
 - ・体験的な学習を重視する。
- （4） 道徳教育の充実
 - ・特別な教科 道徳への移行に取り組む。
- （5） 特別支援教育の視点を生かした取組
 - ・児童一人一人の学び方の個性に応じた配慮を行う。
 - ・見通しのもてる授業で児童の集中力・学習意欲を高める。
 - ・集中しやすく、児童が主体的に行動できる教室環境を整備する。
- （6） 健康・体力の向上
 - ・食物アレルギー対応・安全点検など、組織的に事故を防止する。
 - ・家庭との連携、学校保健委員会を充実させ、健康第一の基本的な生活習慣を確立する。
 - ・元気タイムや体育授業の充実を図り、運動好きな児童を育てる。
 - ・朝マラソンや縦割り活動などを通して外遊びを奨励する。

- （1） 互いの個性や違いを認め合う学級経営
 - ・多面的な児童理解に努める。
 - ・一人一人の児童のよさやよい行いを見出し、主体的な活動を認め、自己有用感を高める。
 - ・一人一人の児童が気持ちの安らぐ学級にするためのルールをつくり、徹底する。
- （2） 担任を支える校内支援組織の充実
 - ・「児童理解委員会」を効果的に運営し、校内の共通理解を図る。
 - ・必要に応じて「個別ケース会議」を開催し、組織的に「配慮を要する指導」に対応する。
 - ・生徒指導・教育相談・特別支援教育の連携を図り、より適切に児童を理解し、より効果的な支援策を見いだす。
- （3） 自分の身を守る教育の推進
 - ・「自分の身を自分で守る力」を育てるための防災・安全教育を充実する。
 - ・関係機関、家庭と連携を図り、交通事故やネット犯

- （1） 特色ある幼保・小・中・高連携教育の推進
 - ・地域の特色を生かした坂田保育所、加納中学校、県立桶川高校など異校種との連携を推進する。
- （2） 美しい教育環境の整備
 - ・大規模改修工事に伴う安全管理を確実に行う。
 - ・教材備品の整理整頓に努め、学習環境を整える。
 - ・全校児童が同じ方法で「もくもく清掃」に取り組み、清掃活動を充実する。
- （3） P T A・学校応援団・地域との協力
 - ・児童による地域貢献を実施する。（高齢者との交流）
 - ・P T A活動への協力を推進する。
 - ・学校応援団との連携を図る。
 - ・積極的に地域に出向いて情報交換し、学校と地域の協力体制を強化する。
- （4） 学校からの積極的な情報発信
 - ・学校だより、学年だよりを積極的に活用し、学校の教育活動を発信する。
 - ・ホームページを充実し、学校のさまざまな取組を紹介する。
- （5） 教職員の協働体制の充実
 - ・報告・連絡・相談を密にし、組織的な取組とする。
 - ・若手教員を育成し、匠の技を継承する。